

「地盤工学会誌（土と基礎）」講座一覧

No.	講座名	期間	回数
1	土質試験法解説	1953.4～1955.1	8回
2	平易なる土質工学	1953.4～1955.1	8回
3	演習・問題	1953.7～1955.4	8回
4	軟弱地盤およびその対策	1955.4	1回
5	直接セン断試験	1955.4	1回
6	土の三軸試験	1955.7	1回
7	建築基礎工法	1955.7～1958.8	16回
8	圧密試験法	1955.9	1回
9	土の透水試験	1956.2～1956.4	2回
10	原位置試験	1956.8	1回
11	物理的地下探査法	1956.10～12	2回
12	試料採取法	1957.2	1回
13	地盤の載荷試験方法	1957.4～6	2回
14	基礎杭の試験法	1957.8	1回
15	土圧測定法	1957.1	1回
16	現場締固め試験	1958.2	1回
17	土質工学用語解説	1960.8～1962.2	10回
18	「粘土の科学」入門	1962.4～11	8回
19	土質工学用語解説（補足）	1963.1	1回
20	問題点をさぐる	1963.1～1964.4	10回
21	セミナー「粘土の力学」	1964.4～1965.9	9回
22	問題点をめぐって	1964.4～9	6回
23	土質技術者のための地質学	1964.10～1965.5	7回
24	現場技術者のための土質工学 - 掘削のポイント -	1965.8～1968.11	35回
25	計器による現場測定のポイント	1968.12～1971.3	22回
26	土の動的性質	1971.4～1972.9	16回
27	情報の集め方と利用の方法	1972.3～1973.4	13回
28	土質工学における図解法の使い方	1973.11～1973.9	11回
29	土質分類	1972.11～1973.7	9回
30	SI単位と土質工学	1973.4～5	2回
31	地震学の新しい展開	1973.6～11	5回
32	N値を考える	1973.11～1974.9	9回
33	最近の地形学	1973.12～1974.12	11回
34	土質基礎の回顧と点描	1973.9～1975.3	16回
35	cと ϕ を考える		9回
36	施工に伴う公害振動とその対策		4回

37	傾斜地造成の防災		4回
38	最近の第四紀地質学		10回
39	緑化工		11回
40	シソーラス入門		4回
41	土と基礎に関する構造物の挙動	1973.6~1973.11	14回
42	土質基礎の回顧と点描・補遺	1973.11~1974.9	7回
43	有機質土の工学的問題	1973.12~1974.12	6回
44	シールド工法と土質	1973.9~1975.3	16回
45	最近の地震学入門		11回
46	建設工事と地下水		9回
47	粒状体力学の現状とその応用		5回
48	クイ施工の問題点とその対策		8回
49	自然は語る		6回
50	圧密沈下を考える		9回
51	設計における土質定数の考え方		8回
52	施工と水		8回
53	杭基礎の鉛直支持力を考える		9回
54	柱状図は訴える		5回
55	地震災害の地形・地質		5回
56	土質工学におけるレオロジー		9回
57	根切り・山留めの設計		9回
58	土木計画における地形・地質情報の利用		8回
59	土中水の不飽和流動		11回
60	施工機械と土質工学		9回
61	地盤の液状化		8回
62	浅い基礎の支持力と変形に関する理論とその適用		9回
63	土質工学における雪と氷		6回
64	深い地盤改良の実際と問題点		10回
65	土砂災害の予知と対策		16回
66	土を削る－現場計測と施工管理		13回
67	土の構成式入門		9回
68	設計における土のせん断強さと c , ϕ の考え方		12回
69	土と農業		7回
70	設計・施工上の留意点をさぐる		10回
71	土の物理化学と土質工学への応用	1985.4~1986.6	14回
72	地震応答解析のための土の動的性質	1985.6~1986.9	15回

73	施工面から見た軟岩	1985.11～1986.11	11回
74	海洋・海岸工学と土質	1986.7～1987.9	14回
75	pFの原理と応用	1986.11～1987.9	11回
76	土質データのばらつきと設計	1986.12～1987.9	10回
77	遠心模型実験	1987.11～1988.9	9回
78	新しい現地調査法	1987.11～1989.2	12回
79	有限要素法による数値解析入門	1987.11～1989.4	13回
80	土と基礎に関する技術者のための英語	1988.12～1989.7	7回
81	場所打ち杭・埋込み杭の支持力と設計	1989.4～1990.6	10回
82	地盤の熱的問題	1989.5～1990.11	12回
83	地下空間 - 21世紀に向けて -	1990.4～1990.12	7回
84	最近の締固め	1990.7～1991.5	8回
85	建設工事における土と環境計測	1990.12～1991.12	11回
86	人工島の建設技術	1991.1～1991.10	8回
87	土の繰返し圧密	1991.6～1992.2	8回
88	基礎設計における基準の背景と使い方	1991.11～1993.3	14回
89	地盤と構造物の動的相互作用の解析法	1992.1～1993.3	13回
90	建設工事における風化・変質作用の取扱い方	1992.5～1993.4	11回
91	地盤の異方性	1993.3～1994.3	13回
92	ジオテキスタイルを用いた補強土工法	1993.3～1994.4	14回
93	カムクレイに学ぶ	1993.5～1994.4	12回
94	地盤環境汚染の現状と対策	1994.4～1995.3	12回
95	海洋構造物の支持力特性	1994.5～1995.7	15回
96	高有機質土地盤の問題点を探る	1994.5～1994.10	6回
97	掘削と周辺地盤の変状	1994.11～1995.10	12回
98	地盤工学における逆解析	1995.4～1996.7	15回
99	地盤工学者のための地形・地質情報の活用法 入門	1995.8～1996.9	12回
100	盛土材料としての堆積軟岩の諸特性と盛土事例	1995.11～1996.12	13回
101	石造文化財の保存	1996.8～1997.9	14回
102	発生土および廃棄物の地盤工学的処理と有効 利用	1996.10～1997.11	14回
103	地盤材料の小ひずみでの非線形特性と地盤変 形問題への適用	1997.1～1998.5	15回
104	地震発生メカニズムと予測	1997.10～1998.10	11回
105	各種構造物の実例に見る地盤改良工法の選定 と設計	1997.12～1999.4	17回

106	粘性土の動的性質	1998.4～1999.4	12回
107	土木技術と自然環境の保全	1998.11～1999.10	12回
108	液状化に伴う地盤の流動と構造物への影響	1999.5～2000.4	11回
109	杭基礎の鉛直荷重～変位特性の評価法入門	1999.7～2000.9	14回
110	不連続性岩盤の調査と評価	1999.12～2001.1	13回
111	土石流	2000.5～2001.2	9回
112	地盤工学分野における自動化施工と制御技術の現状	2000.10～2001.5	8回
113	地盤工学における有限要素法の基礎	2001.2～2001.12	11回
114	軽量地盤材料の物性評価と適用	2001.3～2001.12	10回
115	土構造物の景観設計	2001.7～2002.4	10回
116	土の構造とメカニクス－マイクロからマクロへ	2002.1～2003.2	14回
117	落石対策	2002.1～2002.8	8回
118	液状化メカニズム・予測法と設計法	2002.5～2003.4	12回
119	移流分散解析入門	2002.9～2003.9	13回
120	土の凍結と地盤工学	2003.3～2004.3	12回
121	豪雨時における斜面崩壊のメカニズムと危険度予測	2003.5～2004.3	11回
122	リスクと地盤工学	2003.4～2004.9	6回
123	地盤を診る物理探査	2003.4～2004.9	6回
124	遠心載荷模型実験－実験技術と実務への適用－	2004.10～2005.3	6回
125	土を固める原理と応用	2004.10～2005.3	6回
126	地盤材料の室内せん断試験の基礎から応用まで	2005.4～2005.9	6回
127	建設・産業副産物の地盤工学的有効利用	2005.4～2005.9	6回
128	火山灰質土・その性質と設計施工－	2005.10～2006.3	6回
129	GPSと情報化施工	2005.10～2006.3	6回
130	ボーリング技術の最前線	2006.4～2006.9	6回
131	土構造物のメンテナンス	2006.4～2006.9	6回
132	土と基礎の生態学	2006.10～2007.3	6回
133	実務のための圧密沈下予測とその対策技術	2006.10～2007.3	6回
134	粒子特性の評価と工学的意義	2007.4～2007.9	6回
135	近接工事の調査・設計・施工技術	2007.4～2007.9	6回
136	土砂災害ハザードマップ	2007.10～2008.3	6回
137	アジア地域における地下水環境	2007.10～2008.3	6回
138	関西国際空港の建設と地盤工学的諸問題	2008.4～2008.9	6回

139	不飽和土・不飽和地盤	2008.4～2008.9	6回
140	舗装と交通荷重に関する地盤工学	2008.10～2009.3	6回
	初級講座	2008.10～2009.9	12回
141	地盤情報データベース	2009.4～2009.9	6回
142	メタンハイドレート資源開発の最新動向	2009.10～2010.3	6回
143	土壌汚染対策技術の現状と実例	2009.10～2010.3	6回
144	高松塚古墳壁画の保存対策	2010.4～2010.9	6回
145	プログラミングで学ぶ有限要素法	2010.4～2010.9	6回
146	地盤構造物の設計コードと信頼性設計法	2010.10～2011.3	6回
147	土の化学・物理	2010.10～2011.3	6回
148	地盤材料の構成モデル最前線	2011.4～2011.9	6回
149	土構造物の耐震性診断と対策	2011.4～2011.9	6回
150	地盤工学におけるリスクマネジメント	2011.7～2011.12	6回
151	技術の伝承	2011.10～2012.3	6回
152	わかって使うレーザー計測	2011.10～2012.3	6回
153	リモートセンシング技術の地盤工学への応用	2012.4～2012.9	6回
154	羽田空港D滑走路に込められた地盤工学の知恵と技術	2012.4～2012.9	6回
155	地下水位の変動が構造物に与える影響と対策	2012.10～2013.3	6回
156	地盤工学技術者のための確率統計入門	2012.10～2013.3	6回
157	室内試験・原位置試験結果の設計への反映	2013.4～2013.9	6回
158	海面処分場の現状と将来性	2013.4～2013.9	6回
159	河川堤防	2013.10～2014.3	6回
160	地球温暖化がもたらす地盤の環境変化と災害	2013.10～2014.3	6回
161	地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤特性とその対応技術	2014.4～2014.9	6回
162	補強土壁の長期性能と維持管理	2014.4～2014.9	6回
163	グラウンドアンカーの維持管理	2014.10～2015.3	6回
164	NATMとシールドトンネルの設計と実際	2014.10～2015.3	6回
165	地盤工学で遭遇する化学的現象の理解	2015.4～2015.9	6回
166	地盤工学のための個別要素法	2015.4～2015.9	6回
167	放射性物質による事故由来汚染物の対策技術の現状	2015.10～2016.3	6回
168	沿岸土木構造物の津波に対する対策	2015.10～2016.3	6回

169	平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓ー 「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言ー	2016.4～2016.9	6回
170	火山による災害特性と防災技術	2016.4～2016.9	6回
171	地盤工学と地質学における最新のかかわり	2016.10～2017.3	6回
172	産業副産物・災害廃棄物の地盤工学的利用	2017.4～2017.9	6回
173	地盤に刻まれた巨大地震の痕跡	2017.4～2017.9	6回
174	南海トラフ地震発生帯掘削計画ー巨大地震発生のメカニズムを探るー	2017.10～2018.3	6回
175	X線CTから見える土質力学（仮称）	2017.10～2018.3	6回
176	杭基礎の支持層確認と支持力確保	2018.4～2018.9	6回
177	サンプリングの極意	2018.4～2018.9	6回
178	耐震設計指針の考え方と地盤及び土構造物への適用法	2018.10～2019.3	6回
179	液状化調査手法としてのサウンディング技術	2019(H31).1～2019.3	
180	平野が抱える地盤工学的課題とその対策	2019 (H31) .4～2019.9	6回
181	地盤工学に関する科学哲学と技術者倫理	2019 (H31) .4～2019.9	6回
182	土を固める技術の動向	2019.10～2020.3	6回
183	地盤工学における性能設計の基礎と実装～鉄道構造物設計標準を例として～	2019.10～2020.3	6回
184	海底地すべりと津波	2020.4～2020.10	6回
185	道路土工構造物の点検と防災	2020.4～2020.10	6回
186	地盤工学における情報収集・分析・伝達技術開発の最前線	2020.10～2021.3	6回
187	交通地盤工学に関する基礎講座	2020.10～2021.3	6回
188	宇宙探査と地盤工学	2021.4～2021.9	6回
189	フレッシュマンのための『続・土質力学』（仮題）	2021.10～2022.3	●回

2019年11月26日現在

備 考

単行本として出版

講習会テキストとして使用

講習会テキストとして使用

単行本として出版
単行本として出版
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
単行本（ライブラリー）として出版
講習会テキストとして使用
32, 35と合わせて単行本（ライブラリー）として出版
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用

講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会テキストとして使用
講習会開催
講習会開催
講習会開催
講習会開催

講習会開催
1～2回の読み切り
(初級講座)
(初級講座)
(初級講座)
(初級講座)
(初級講座)

掲載中
掲載中
2020上期予定
2020上期予定
2020下期予定
2020下期予定
2021上期予定
2021下期予定